

金親清 イサノシゲ 小説家。明治四十年五月十一日千葉縣生れ（一九〇七）。筆名秋松主人。千葉高等商業學校中退。農民運動、プロレタリア文藝運動に参加。戦時中轉向も、戦後日本共産黨入黨。

著書「われらの成果」新鋭傑作七人集（合著、昭和九年十月二十日（二一書房）、「海へ出の蝶」（昭和十七年一月二十日學藝社）、「鐵道守備隊」（上田廣共著、昭和十七年十一月十五日金の星社）、「初戀」（昭和二十二年七月二十日高島書房）、「死の海」九十九里（濱善作の現地報告）（昭和二十五年五月二十日漁民文化社）、「祖国の地図」（合著・真鍋吳夫編、昭和二十一年十一月二十日（二一書房）（二一新書））、「このころのいひまき」（金親と真共著、昭和二十四年四月、理論社）等。

